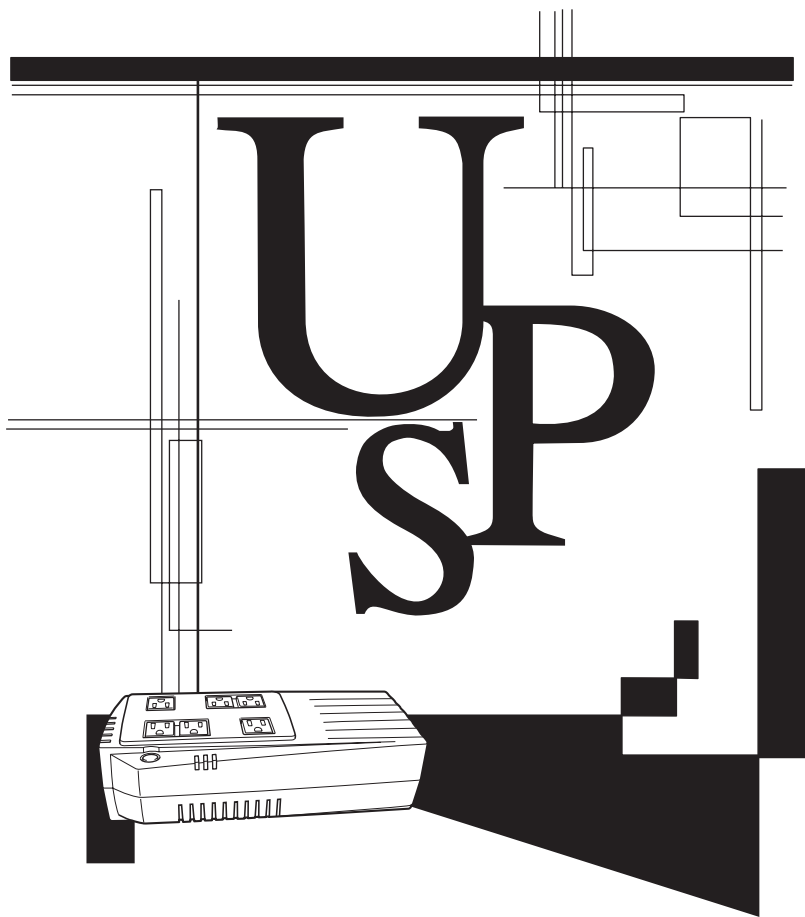
無停電電源装置

OMRON

POWLI BZ35T/BZ50T/BZ50LT

取扱説明書

●この説明書には本機を安全にご使用いただくため重要なことが書かれていますので、設置やご使用される前に必ずお読みください。

●この説明書は必要な時はいつでも読めるよう、本機の設置場所の近くに保管し、ご使用ください。

はじめに

このたびは無停電電源装置POWLI BZ35T/BZ50T/BZ50LTをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本機はパソコン専用の無停電電源装置です。

・「停電時バックアップする」コンセントには、BZ35Tの場合は消費電力350VA/210W、BZ50T/BZ50LTの場合は消費電力500VA/300Wまでのパソコン、ディスプレイ、周辺機器などを停電や電圧変動などの電源の異常から保護(バックアップ)します。
・「停電時バックアップしない」コンセントには、BZ35Tの場合は最大6.5A、BZ50T/BZ50LTの場合は最大5Aまでの周辺機器などを接続できます。
・接続機器を電源ラインから入り込むサージから保護します。また通信回線サージ保護機能により、モデムなどの通信機器を回線から入り込むサージからも保護します。
・バッテリ交換がお客様で簡単に行えます。

この説明書をよくお読みいただき、本機を十分にお役立ていただきますようお願いいたします。

本機の用途について

● 本機はパソコンなどのＯＡ機器に使用することを目的に設計・製造されています。
以下のような、極めて高い信頼性や安全性が要求される用途には使用しないでください。
  ・人命に直接関わる医療用機器
  ・人身の損傷に至る可能性のある用途。(航空機、船舶、鉄道、エレベータなどの運行、運転、制御などに直接関連する用途)
  ・車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
  ・故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。
  (主要な電子計算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなど)
  ・これらに準ずる機器

● 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備など、運用維持、管理について特別な配慮が必要となります。

● 本説明書記載の使用条件・環境などを遵守してください。

● 特に信頼性の要求される重要なシステム等への使用に際しては、オムロン電子機器カスタマサポートセンタへご相談ください。

● 装置の改造・加工はおこなわないでください。

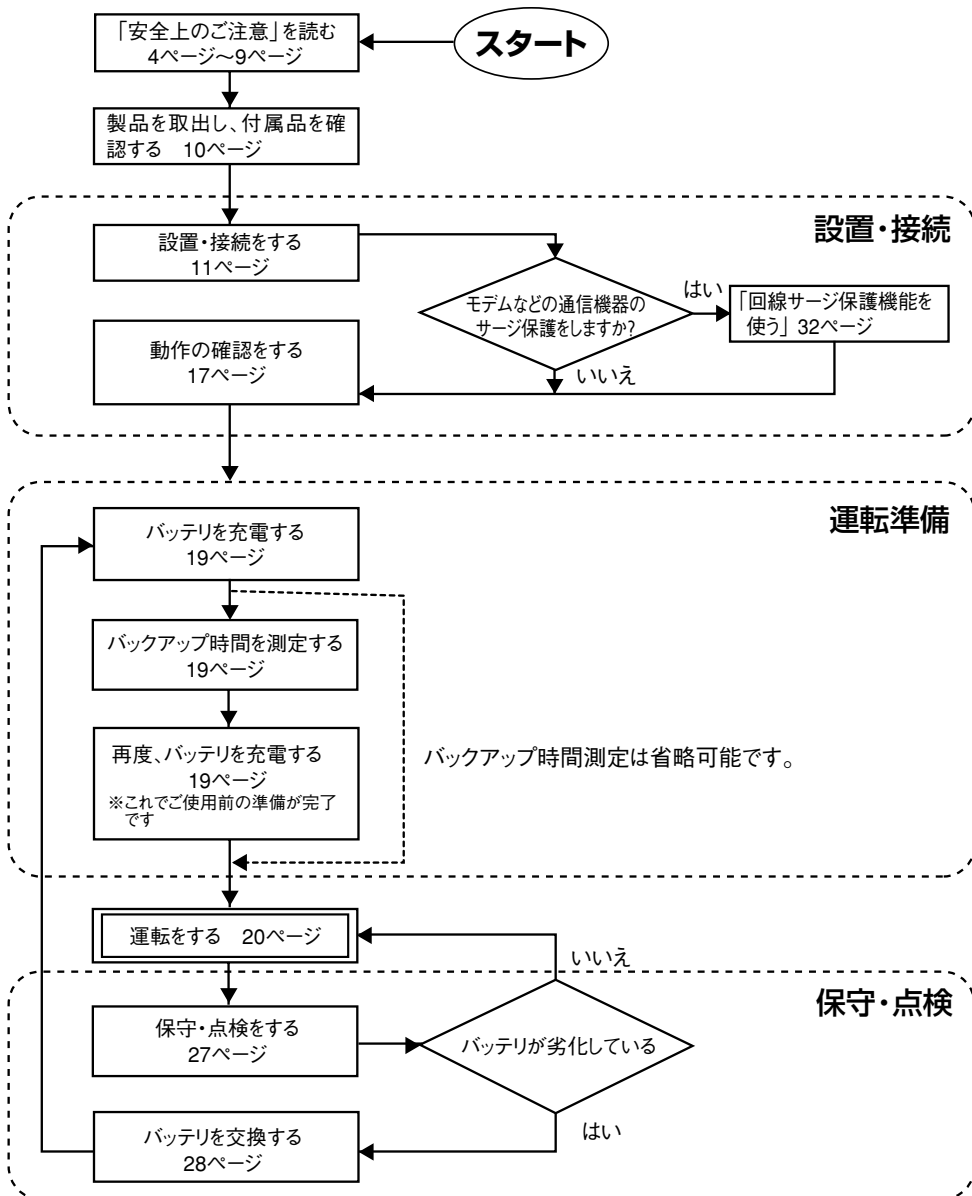
● 本機は日本国内向け仕様です。機器に組み込んで輸出される場合等は、当社にお問い合わせください。
  ・本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
  ・電源の電圧や周波数が違う場合が多く、故障したり、火災を起こすことがあります。

免責事項について

当社製品の使用に起因する事故であっても、装置・接続機器・ソフトウェアの異常、故障に対する損害、その他二次的な損害を含むすべての損害の補償には応じかねます。

●最初に安全上のご注意について記載していますので、必ずお読みいただき、正しくご使用ください。

ユーザ登録のお願い

当社ホームページからユーザ登録が可能です。(ホームページアドレス　http://www.omron.co.jp/ped-j/)
または、付属のご愛用者登録カードに必要事項をご記入の上、オムロン電子機器カスタマサポートセンタまでご送付ください。

設置から運転までの手順

目 次

はじめに
本機の用途について
免責事項について
設置から運転までの手順 1
安全上のご注意 4

1. 準備 10
1-1 付属品を確認する 10
1-2 各部の名称 10

2. 設置・接続をする 11
2-1 設置・接続時のご注意、お願い 11
2-2 設置・接続方法 14
2-3 動作確認 17

3. 運転準備 19
3-1 バッテリの充電 19
3-2 バックアップ時間の初期値測定 19
3-3 バッテリの再充電 19

4. 運転・操作について 20
4-1 運転時のご注意、お願い 20
4-2 運転・停止方法と基本的な動作 21
4-3 ブザー音・表示の見方 23
4-4 自己診断テスト機能の説明 25
4-5 バッテリ自動テスト機能の説明 26

5. 保守・点検について 27
5-1 バッテリの点検 27
5-2 バッテリの交換 28
5-3 お手入れ方法 31

6. 回線サージ保護機能を使う 32
6-1 電話回線と接続する場合 32
6-2 ISDN回線と接続する場合 32
6-3 ADSL回線と接続する場合 32
6-4 接続例 32
7. バックアップ時間を測定する 33
7-1 バックアップ時間の測定方法 33
7-2 バックアップ時間の目安 33
8. おかしいな？と思ったら 35
9. 関連商品の説明 36
自動シャットダウンソフトを使用する 36
参考資料 37
A. 仕様 37
B. 関連商品 37
C. 外形図（単位：mm） 38
D. 回路ブロック図 39

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください

安全上のご注意

この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

	危　険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注　意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的障害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

：禁止（してはいけないこと）を示します。例えば　は分解禁止を意味しています。

：強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば　はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。

危　険

本製品を、下記のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しない。
※本製品は、パソコンなどのOA機器に使用することを目的に設計・製造されています

- 人命に直接関わる医療機器やシステム。
- 人身の安全に直接関連する用途。（例：車両・エレベータなどの運行、運転、制御など）
- 故障すると社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある用途。（例：主要なコンピュータシステム、幹線通信機器など）
- 上記に準ずる用途。

注　意（設置・接続時）

重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。

- 転倒や落下するとけがをすることがあります。
- 本機の質量は約3.2kgです。
- 落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

梱包のポリ袋は幼児の手の届かない場所に移すこと。

- 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

本機の入力プラグは必ずAC100V（50/60Hz）の電源コンセント（商用電源）に接続すること。

- 電圧の違う電源コンセント（商用電源）に接続すると、火災を起こすことがあります。
- 本機が故障することがあります。

⚠注　意（設置・接続時）

ドライヤーなど、交流電源の半サイクルのみで電流が流れる半波整流機器を接続しないこと。

●過電流により、無停電電源装置が故障することがあります。

13A以上の電流容量のある電源コンセント（商用電源）に接続すること。

●電源配線が発熱することがあります。

●出力容量最大限の機器を接続した場合、最大で13Aの電流が流れます。

アース接続（接地）を確実に実施すること。

●電源コンセントが3Pの場合、本機の「AC100V入力」プラグをそのまま差し込んでください。故障や漏電があった場合に感電することがあります。

●「AC100V入力」プラグに3P-2P変換アダプタをご使用の場合、アース接続（接地）は必ず「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続する前におこなってください。またアース接続(接地)を外す場合は必ず「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜いておこなってください。

●サージ保護を機能させるために、アースに接続してご使用ください。

分解、修理、改造をしないこと。

●感電したり、火災を起こす危険があります。

指定外の方向で設置しないこと。

●転倒や落下するとけがをすることがあります。

●指定方向以外で設置されると、バッテリが液漏れしたときの保護ができません。

上に物を乗せないこと。

●ケースのゆがみや破損により火災を起こすことがあります。

最高気温が40℃を超える場所で使用しないこと。

●バッテリが急速に劣化し、火災などを起こすことがあります。

●本機が故障したり、誤動作を起こすことがあります。

以下のような場所で設置や保管をしないこと。

●湿度が25％よりも低い／湿度が85％よりも高い／隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある／振動や衝撃が加わる／屋外など。

●火災などの原因になることがあります。

密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

●異常な発熱や火災を起こすことがあります。

本機の出力容量を超える機器を接続しないこと。

●本機の電流保護が作動し、出力を停止することがあります。

●テーブルタップの配線が発熱し、火災を起こすことがあります。

●「停電時バックアップする」側の電源出力コンセントは、オーバーロードを検出した場合、出力を停止します。

⚠ 注 意（設置・接続時）

ケーブルをはさんだり、束ねた状態で使用しないこと。

●ケーブルの損傷や発熱により、感電したり、火災を起こす危険があります。
●ケーブルに傷のある場合はすぐに本機の使用を中止し、修理を依頼してください。
修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

入力力率改善された電源を使用した機器を接続しないこと。

●過電流により、無停電電源装置が故障することがあります。

⚠ 注 意（使用時）

濡らしたり、水をかけないこと。

●感電したり、火災を起こすことがあります。
●水に濡らした場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。
修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

寿命が尽きたバッテリはすぐに交換するか、本機の使用を中止すること。

●使用を続けると火災を起こすことがあります。

平均周囲温度	期待寿命	
	BZ35T/BZ50T	BZ50LT
20℃	2～3年	4～5年
30℃	1～1.5年	2～2.5年

※左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。

「AC100V入力」プラグのほこりは、時々乾いた布でふき取ること。

●長期間ほこりが付着したままにしておくと火災の原因となることがあります。

変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れた時は、すぐに本機の「電源」スイッチを切り「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜くこと。

●このような状態で使用すると火災を起こすことがあります。
●このような状態になったら絶対に使用せず、お買い求めの販売店かオムロン電子機器修理センタに点検・修理を依頼してください。
●使用時は異常発生時にすぐに「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜ける状態にしておいてください。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

●失明したり、やけどをする危険があります。
●目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

⚠ 注 意（保守時）

接続機器の保守を行う場合は、必ず本機の「電源」スイッチを切り、AC100V入力プラグを抜いた状態で行うこと。

●本機の電源出力は、無停電電源装置が運転状態のとき「AC100V入力プラグ」を抜いても出力は停止せず、「停電時バックアップする」のコンセントからAC100Vが供給されます。
●本機の「電源スイッチ」を切った状態でも、AC100V入力プラグが電源コンセント（商用電源）に接続されている状態では、「停電時バックアップしない」のコンセントからAC100Vが供給されます。（停電時は除く）

⚠ 注　意（保守時）

分解、修理、改造しないこと。

●感電したり、火災を起こす危険があります。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

●失明したり、やけどをする危険があります。
●目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

本機を火の中に投棄しないこと。

●鉛バッテリを内蔵していますので、バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

⚠ 注　意（バッテリ交換時）

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

●バッテリは落下しないよう、しっかりと保持してください。
●落下によるけが、液漏れ（酸）によるやけどなどの危険があります。

指定以外の交換バッテリは使用しないこと。

●火災の原因となることがあります。
●商品型式：BP50T　（BZ35T/BZ50T交換用バッテリ）
　　　　　　BP50LT（BZ50LT交換用バッテリ）

可燃性ガスがある場所でバッテリ交換をしないこと。

●バッテリを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリから液漏れがあるときは液体（希硫酸）に触らないこと。

●失明したり、やけどをする危険があります。
●目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

バッテリの分解、改造をしないこと。

●希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

●希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリを金属物でショートさせないこと。

●感電、発火、やけどの恐れがあります。
●使用済みバッテリでも内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

●バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

交換作業は、接続機器のプラグを抜いた状態で、かつ本機の「電源」スイッチを切り、AC100V入力プラグを抜いた状態で行うこと。

● 交換作業中は、接続機器への給電はできません。
● 感電する危険があります。

お願い

寒い場所から暖かい所へ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。

●急に暖かい所へ移動すると水分が付着し（結露）、そのまま通電すると故障することがあります。

購入されましたら、早目に充電（12時間以上）してください。

●ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
●本機の「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に差し込むことでバッテリを充電できます。

本機を保管される場合は12時間以上充電し、「電源」スイッチを切ってください。

●バッテリは使用しない場合でも自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。
バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
●本機に内蔵されたバッテリの保管可能期間は、完全充電状態から6ヵ月です。
●保管期間が6ヵ月を超える場合、6ヵ月以内に本機のAC入力プラグを12時間以上商用電源コンセントに接続してください。
●保管中は本機の「電源」スイッチを切ってください。

回線サージ保護の「IN」と「OUT」の接続を逆にしないでください。

●保護回路が故障した時に回線等に障害を与える可能性があります。

本機の出力ライン間のショート（短絡）、および出力ラインをアースにショート（地絡）しないように注意してください。

●本機が故障することがあります。

バックアップ運転中に本機の「AC100V入力」プラグを本機の電源出力コンセントに差し込まないでください。

● 本機が故障することがあります。

ページプリンタ（レーザプリンタなど）を本機に接続しないでください。

●商用運転、バックアップ運転を頻繁にくり返し、バッテリ寿命が短くなります。
●ページプリンタはピーク時の電流が大きく、接続容量オーバーを検知したり、瞬時電圧低下による停電検出をすることがあります。

本機は常時商用給電方式の無停電電源装置（UPS）です。以下のような機器には使用しないでください。

●10msec.（0.01秒）以下の瞬間停電で不具合の発生する機器。
10msec.以下の切替時間が発生するため、接続機器が停止する可能性があります。
●高い電源安定性を必要とする機器。
出力電圧の瞬間変動により接続機器が停止する可能性があります。

本機は蛍光灯などの誘導性の機器には使用しないでください。

●矩形波出力のため、接続機器が停止する可能性があります。
●誘導性の機器とは入力にトランス、コイル、モータなどを内蔵している機器です。

お願い

本機を直射日光の当る場所に設置あるいは保管しないでください。

●温度上昇により内蔵バッテリが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

耐電圧試験はしないでください。

●電源入力線にサージ吸収素子が入っていますので、耐電圧試験をされるとサージ吸収素子が破壊します。

●絶縁抵抗試験をする場合は、DC250Vレンジで実施してください。

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。

●商用電源を停止すると、バックアップ運転になります。バックアップ運転の頻度が高くなるとバッテリ寿命が著しく短くなる場合があります。

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。

●鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力下さい。
リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡下さい。

本機を第三者に譲渡・売却する場合は、本機に添付されている書類等全てのものを本機に添付のうえ譲渡してください。本機は添付書類等記載の条件に従うものとさせて頂きます。

●本説明書には、安全に関わる内容等が記載されています。内容をご確認の上、ご使用ください。
また、本説明書を紛失された場合は、販売店までご連絡ください。

解　説

日常の運用方法について

●本機の「電源」スイッチは 入れたまま（運転状態）でも、接続されているシステムの停止のたびに 切ってもどちらでも問題ありません。お客様のご都合の良い方法で運用をおこなってください。長期間接続機器を使用しないときは「電源」スイッチを切っておくことをお勧めします。

●本機の「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に差し込むことでバッテリを充電できます。

バックアップ運転終了について

●停電時間が長くなるとバッテリが放電し、本機からの電源出力が停止します。本機が電源供給している間にパソコンを正しい手続きで終了（データをセーブするなどの処置）するようにしてください。

再起動について

●停電中にバッテリが放電してしまうと、本機は停止します。その後停電などの電源異常が回復すると、本機は自動的に再起動し、電源供給します。接続機器を動作させたくないときは、本機の「電源」スイッチ、あるいは機器のスイッチを切っておいてください。

1. 準備

1-1 付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

● BZ35T/BZ50T

1. 取扱説明書 1冊
2. 保証書 1枚
3. ご愛用者登録カード 1枚
4. 3P-2P変換アダプタ 1個
5. 電話線(モジュラーケーブル) 1本
6. USBケーブル 1本
7. ゴム足 4個

1-2 各部の名称

上面

「出力」ランプ(緑)
「バッテリ」ランプ(黄)
「警報」ランプ(赤)
電源スイッチ

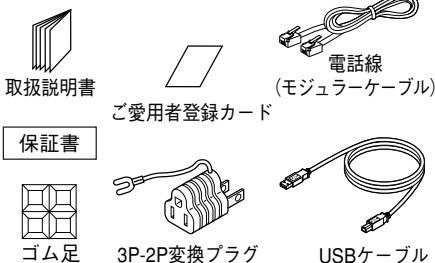
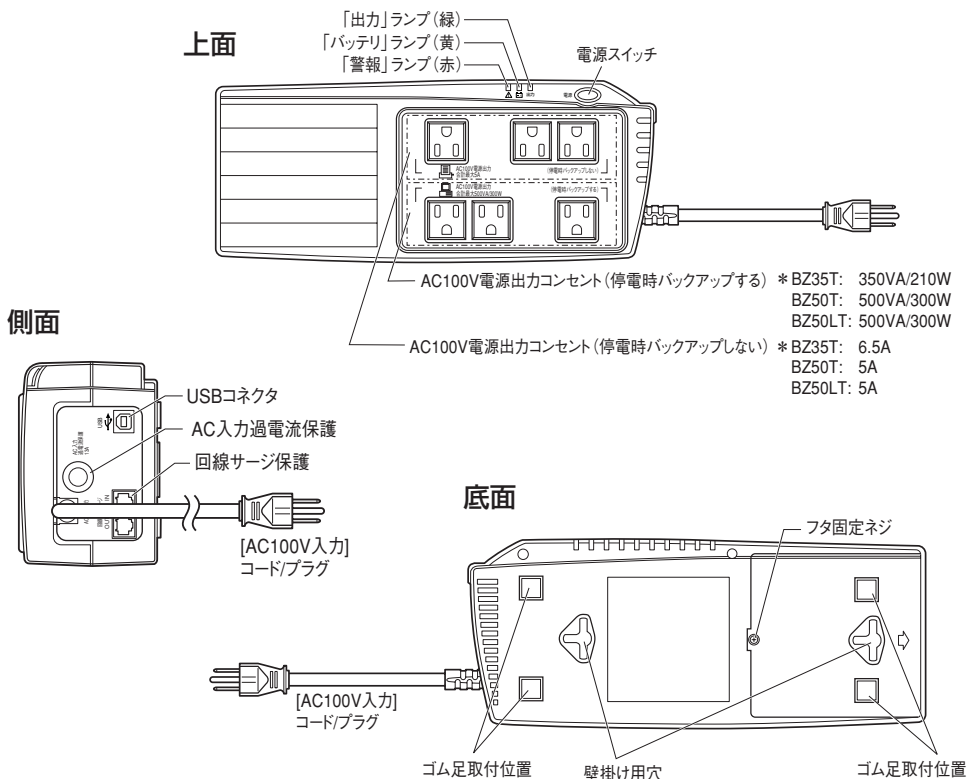
AC100V電源出力コンセント(停電時バックアップする) ＊BZ35T: 350VA/210W
BZ50T: 500VA/300W
BZ50LT: 500VA/300W

AC100V電源出力コンセント(停電時バックアップしない) ＊BZ35T: 6.5A
BZ50T: 5A
BZ50LT: 5A

側面

USBコネクタ
AC入力過電流保護
回線サージ保護
[AC100V入力]
コード/プラグ

底面

フタ固定ネジ
[AC100V入力]
コード/プラグ
ゴム足取付位置
壁掛け用穴
ゴム足取付位置

2. 設置・接続をする

2-1 設置・接続時のご注意、お願い

⚠ 注 意（設置・接続時）

重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。

●転倒や落下するとけがをすることがあります。
●本機の質量は約3.2kgです。
●落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。
　修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

梱包のポリ袋は幼児の手の届かない場所に移すこと。

●小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

本機の入力プラグは必ずAC100V（50/60Hz）の電源コンセント（商用電源）に接続すること。

●電圧の違う電源コンセント（商用電源）に接続すると、火災を起こすことがあります。
●本機が故障することがあります。

13A以上の電流容量のある電源コンセント（商用電源）に接続すること。

●電源配線が発熱することがあります。
●出力容量最大限の機器を接続した場合、最大で13Aの電流が流れます。

アース接続（接地）を確実に実施すること。

●電源コンセントが3Pの場合、本機の「AC100V入力」プラグをそのまま差し込んでください。
　（「2 設置・接続をする」16ページをご参照ください。）
　故障や漏電があった場合に感電することがあります。
●「AC100V入力」プラグに3P-2P変換アダプタをご使用の場合、アース接続（接地）は必ず「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続する前におこなってください。
　またアース接続（接地）を外す場合は必ず「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜いておこなってください。
●サージ保護を機能させるために、アースに接続してご使用ください。

分解、修理、改造をしないこと。

●感電したり、火災を起こす危険があります。

指定外の方向で設置しないこと。

●転倒や落下するとけがをすることがあります。
●指定方向以外で設置されると、バッテリが液漏れしたときの保護ができません。

上に物を乗せないこと。

●ケースのゆがみや破損により火災を起こすことがあります。

ドライヤーなど、交流電源の半サイクルのみで電流が流れる半波整流機器を接続しないこと。

●過電流により、無停電電源装置が故障することがあります。

入力力率改善された電源を使用した機器を接続しないこと。

●過電流により、無停電電源装置が故障することがあります。

⚠ 注 意(設置・接続時)

最高気温が40℃を超える場所で使用しないこと。

●バッテリが急速に劣化し、火災などを起こすことがあります。
●本機が故障したり、誤動作を起こすことがあります。次のような場所で設置や保管をしないこと。

以下のような場所で設置や保管をしないこと。

●湿度が25%よりも低い／湿度が85%よりも高い／隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある／振動や衝撃が加わる／屋外など。
●火災などの原因になることがあります。

密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

●異常な発熱や火災を起こすことがあります。

本機の出力容量を超える機器を接続しないこと。

●本機の電流保護が作動し、出力を停止することがあります。
●テーブルタップの配線が発熱し、火災を起こすことがあります。
●「停電時バックアップする」側の電源出力コンセントは、オーバーロードを検出した場合、出力を停止します。

ケーブルをはさんだり、束ねた状態で使用しないこと。

●ケーブルの損傷や発熱により、感電したり、火災を起こす危険があります。
●ケーブルに傷のある場合はすぐに本機の使用を中止し、修理を依頼してください。修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

お願い

寒い場所から暖かい所へ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。

●急に暖かい所へ移動すると水分が付着し(結露)、そのまま通電すると故障することがあります。

購入されましたら、早目に充電(12時間以上)してください。

●ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
●本機の「AC100V入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に差し込むことでバッテリを充電できます。

本機を保管される場合は保管される前に12時間以上充電を行ってください。

●バッテリは使用しない場合でも自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
●本機に内蔵されたバッテリの保管可能期間は、充電完了後の状態から6ヵ月です。
●保管期間が6ヵ月を超える場合、超える前に本機のAC入力プラグを12時間以上商用電源コンセントに接続してください。
●保管中は本機の電源スイッチを切ってください。

回線サージ保護の「回線側」と「モデム・TA側」の接続を逆にしないでください。

●保護回路が故障した時に回線等に障害を与える可能性があります。

本機の出力ライン間のショート(短絡)、および出力ラインをアースショート(地絡)しないように注意してください。

●本機が故障することがあります。

お願い

バックアップ運転中に本機の「AC100V入力」プラグを本機の電源出力コンセントに差し込まないでください。

●本機が故障することがあります。

ページプリンタ(レーザプリンタなど)を本機に接続しないでください。

●商用運転、バックアップ運転を頻繁にくり返し、バッテリ寿命が短くなります。
●ページプリンタはピーク時の電流が大きく、接続容量オーバーを検知したり、瞬時電圧低下による停電検出をすることがあります。

本機は常時商用給電方式の無停電電源装置(UPS)です。以下のような機器には使用しないでください。

●10msec.(0.01秒)以下の瞬間停電で不具合の発生する機器。
10msec.以下の切替時間が発生するため、接続機器が停止する可能性があります。
●高い電源安定性を必要とする機器。
出力電圧の瞬間変動により接続機器が停止する可能性があります。

本機は蛍光灯などの誘導性の機器には使用しないでください。

●矩形波出力のため、接続機器が停止する可能性があります。
●誘導性の機器とは入力にトランス、コイル、モータなどを内蔵している機器です。

本機を直射日光の当る場所に設置あるいは保管しないでください。

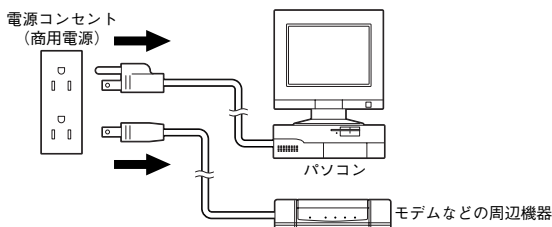
●温度上昇により内蔵バッテリが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

耐電圧試験はしないでください。

●電源入力線にサージ吸収素子が入っていますので、耐電圧試験をされるとサージ吸収素子が破壊します。
●絶縁抵抗試験をする場合は、DC250Vレンジで実施してください。

2-2 設置・接続方法

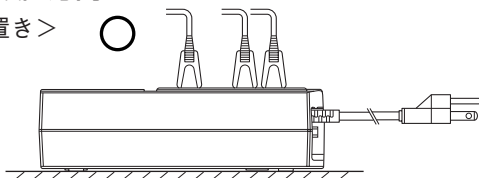
≪パソコン・周辺機器をバックアップするための接続≫

(1) パソコン、周辺機器のAC入力プラグをすべて、電源コンセント（商用電源）から抜いてください。

(2) 本機を設置します。

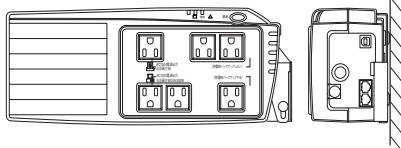
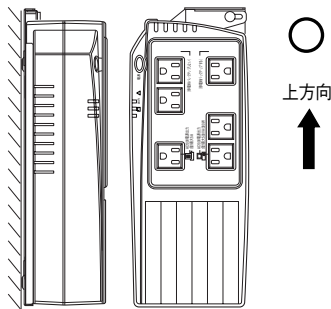
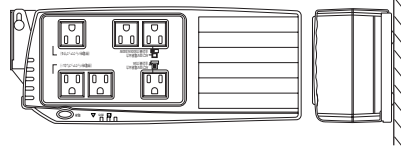
> 使用開始時期をメモしてください。
> なお別売の自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」をご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

● 下図で指定した「正しい設置方向」以外では使用しないでください。

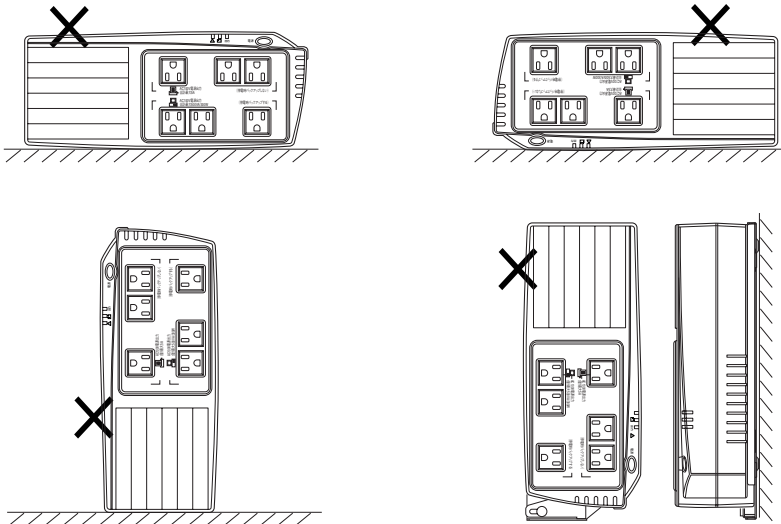
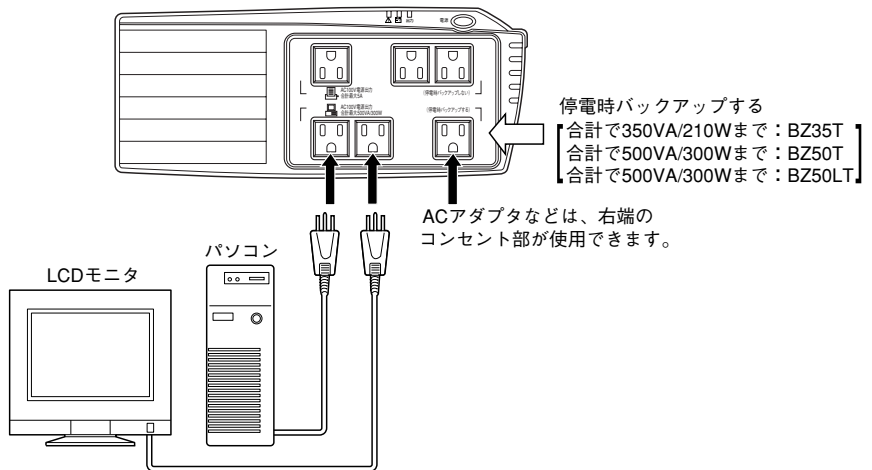
正しい設置方向

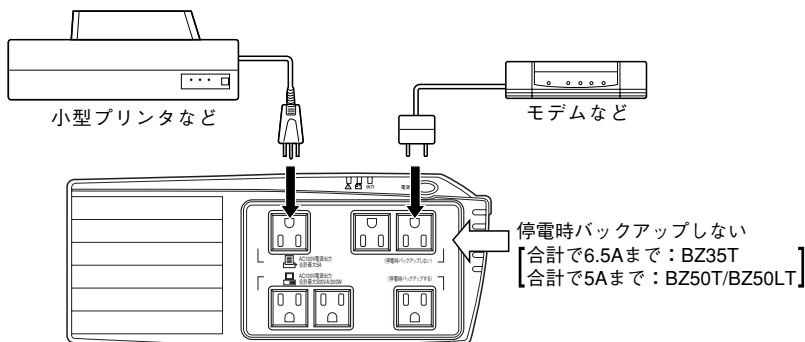
＜据え置き＞

> “据え置き”方向でご使用される場合は、滑り防止のため、添付のゴム足を本体の底面に装着してください。

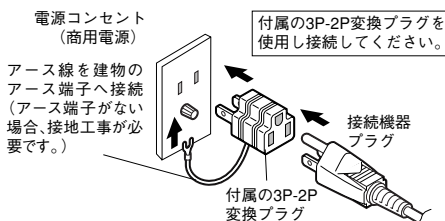
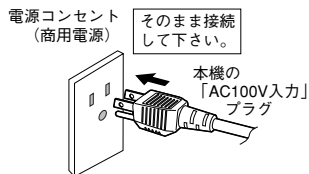
＜壁掛け＞

> 必ず別売の壁掛け取付金具（BUP08）を使用して取り付けてください。
> 取り付けは下図に示した方向でご使用ください。下図以外の方向ではご使用できません。

取付金具の固定には

- 十分な耐荷重のあるネジを使用して壁に取り付けてください。
- 壁の材質に適した取付ネジを使用してください。
- 本機の質量は約3.2kgですがコンセントに機器を接続するとさらに荷重が増加しますので十分な強度で固定してください。

誤った設置方向

(3) バックアップが必要な機器を本機の「停電時バックアップする」側の電源出力コンセントに接続してください。
BZ35Tの場合は、最大合計で350VA/210Wまで接続できます。
BZ50T/BZ50LTの場合は、最大合計で500VA/300Wまで接続できます。

- 接続機器の入力プラグ形状が2Pの場合でも、そのまま接続してください。

(4)バックアップしなくてよい機器を本機の「停電時バックアップしない」側の電源出力コンセントに接続してください。
停電時には出力が停止します。
AC100V入力プラグを電源コンセント(商用電源)に接続した時点で本電源出力コンセントより電源が供給されます。
BZ35Tの場合は、最大合計で6.5Aまで接続できます。
BZ50T/BZ50LTの場合は、最大合計で5Aまで接続できます。

(5) 設置・接続が終わりましたら本機の「AC100V 入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に接続してください。
本機の「AC100V 入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に接続すれば自動的にバッテリの充電が開始され、最長12時間で充電が完了します。
(「電源」スイッチは「入」「切」どちらの状態でも充電します。)

＜電源コンセントが3Pの場合＞　　＜電源コンセントが2Pの場合＞

●アース接続時のご注意
アースを接続しなくても本機のバックアップ機能には影響しませんが、下記の点をご注意ください。
- 雷などにより発生したサージ電圧を減衰する効果が低減します。
- 接続機器がアースされないので金属部に触ると漏れ電流により感電することがあります。

回線サージ保護を使用される場合は、動作確認を行なう前に32ページ「回線保護機能を使う」を参照し、回線を接続してください。
回線サージ保護を使用しない場合はそのまま17ページ「2-3 動作確認」へ進んでください。

2-3 動作確認

□ 点灯　■ 消灯　◪ 点滅

本機への機器の接続が終わりましたら、バックアップが正常に動作するかを確認します。
下記手順にてバックアップ運転が正常におこなわれることを確認してください。
（この動作確認は「AC100V 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜くことで、停電が発生した場合を模擬したものです。）

(1) 本機の「電源 」スイッチを入れます。
ブザーが鳴り、「出力」ランプが点灯します。
「バッテリ」ランプが点滅し、約10秒間バックアップ運転になり自己診断テストをします。
自己診断テストが正常に終了すれば商用電源からのAC100V出力に切り替わり、下記の表示状態になります。
（バッテリ電圧が低い時は自己診断テストを実施せず、ただちに商用電源からの出力で運転開始します。）

表示ランプの状態			ブザー
⚠	🔋	出力	
■	■	□	OFF

(2) 接続されている機器をすべて動作状態にしてください。
（パソコンのサービスコンセントに接続されている機器を含む）
ただし、接続機器の電源が途中で停止しても支障のない状態で運転してください。
本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自然放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。本機を充電してからお使いいただくことをお勧めします。

(3) この状態で本機の表示ランプ、ブザー音を確認してください。

表示ランプの状態			ブザー
⚠	🔋	出力	
■	■	□	OFF

上記の表示になる　→ 動作は正常です。(4)項へ進んでください。
上記表示にならない → 異常です。23ページ「4-3 ブザー音・表示の見方」の「4.機器に異常があるときの表示・ブザー」のいずれかの表示になります。
対処方法に従って処置をおこなってから(4)項へ進んでください。

(4) 本機の「AC100V 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜いてください。
バックアップ運転状態になります。

□ 点灯　■ 消灯　◪ 点滅

(5) バックアップ運転状態で本機の表示ランプ、ブザー音を確認してください。
下記AまたはBと同じランプの状態ですか？

表示ランプの状態			ブザー	状態
⚠	[バッテリ]	出力		
■	□	□	4秒間隔	A
■	◪（1秒間隔）	□	1秒間隔	B

(5)の表示になる　→ Aの場合：動作正常。バッテリの充電が十分です。
Bの場合：動作は正常ですが、バッテリの充電が不足しています。

(5)の表示にならない→ 異常です。表示とブザーの状態を確認して、一度電源スイッチを切ってください。

・23ページ「4-3 ブザー・表示の見方」の「4.機器に異常があるときの表示・ブザー」No.7あるいはNo.8の表示の場合は、対処方法に従って処置をおこなってから再度17ページ(1)項へ戻ってください。

・まったくバックアップせずに本機と接続機器が停止した場合はバッテリの充電不足が考えられます。
本機の「AC100V入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に接続して6時間程度バッテリの充電をおこなってから、再度17ページ(4)項へ戻ってください。

・上記2点を確認しても解決しない場合はオムロン電子機器カスタマサポートセンタにご相談ください。

(6)「AC100V 入力」プラグを、再び電源コンセント（商用電源）に接続してください。
電源ランプの点滅が連続点灯になり、ブザー音が消えます。
(下図の状態になります)

表示ランプの状態			ブザー
⚠	[バッテリ]	出力	
■	■	□	OFF

以上で動作の確認は終了です。

以上で設置・接続はすべて完了しました。

3. 運転準備

3-1 バッテリの充電

本機の「AC100V 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続することにより自動的にバッテリの充電が開始され、最長12時間で充電が完了します。
（電源スイッチは「入」「切」どちらの状態でも充電します。）

●本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自然放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。本機を充電してからお使いいただくことをお勧めします。

●次の「3-2 バックアップ時間の初期値測定」を実施されない場合は、このまま「4. 運転・操作について」に移っていただけます。→20ページ

3-2 バックアップ時間の初期値測定

●はじめての運転を開始する前に、お客様のご使用環境での本機のバックアップ時間の初期値を測定してください。バッテリの点検をする際の目安になります。

参照　「7. バックアップ時間を測定する」→33ページ

3-3 バッテリの再充電

バックアップ時間を測定された後は、バッテリが完全に放電していますのでご使用開始に際し再充電が必要です。

●充電しながら接続機器を使用することも可能ですが、充電完了するまでは停電発生時のバックアップ時間が短くなります。
(充電開始直後に停電発生の場合ではすぐにバックアップが停止してしまいます。)

参照　「3-1 バッテリの充電」の要領で充電を行ってください。

以上で運転開始前の準備がすべて完了しました。

4. 運転・操作について

4-1 運転時のご注意、お願い

⚠ 注 意（使用時）

濡らしたり、水をかけないこと。

●感電したり、火災を起こすことがあります。
●水に濡らした場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。
　修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

寿命が尽きたバッテリはすぐに交換するか、本機の使用を中止すること。

●使用を続けると火災を起こすことがあります。
●バッテリの点検方法については27ページ「5. 保守・点検について」をご参照ください。
●バッテリの交換方法については28ページ「5-2 バッテリの交換」をご参照ください。

平均周囲温度	期待寿命	
	BZ35T/BZ50T	BZ50LT
20℃	2〜3年	4〜5年
30℃	1〜1.5年	2〜2.5年

※ 左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。

「AC100V入力」プラグのほこりは、時々乾いた布でふき取ること。

●長期間ほこりが付着したままにしておくと火災の原因となることがあります。

変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れたなどの時は、すぐに本機の電源スイッチを切り「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜くこと。

●このような状態で使用すると火災を起こすことがあります。
●このような状態になったら絶対に使用せず、お買い求めの販売店かオムロン電子機器修理センタに点検・修理を依頼してください。
●使用時は異常発生時にすぐに「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜ける状態にしておいてください。

内部から液体が漏れたら、液体に触らないこと。

●失明したり、火傷をする危険があります。
●目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

お願い

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。

●商用電源を停止すると、バックアップ運転になります。バックアップ運転の頻度が高くなるとバッテリ寿命が著しく短くなる場合があります。

解　説

日常の運用方法について

●本機の「電源」スイッチは入れたまま（運転状態）でも、接続されているシステムの停止のたびに切ってもどちらでも問題ありません。お客様のご都合の良い方法で運用をおこなってください。
●本機は電源コンセント（商用電源）に接続することでバッテリを充電します。

バックアップ運転終了について

●停電時間が長くなるとバッテリが放電し、本機からの電源供給が停止します。本機が電源供給している間にパソコンを正しい手続きで終了（データをセーブするなどの処置）するようにしてください。

再起動について

●停電中にバッテリが放電してしまうと、本機は停止します。その後停電などの電源異常が回復すると、本機は自動的に再起動し、電源供給します。接続機器を動作させたくないときは、本機の「電源」スイッチ、あるいは接続機器のスイッチを切っておいてください。

4-2 運転・停止方法と基本的な動作

（□ 点灯　■ 消灯　◪ 点滅）

●商用電源にAC100V入力プラグが接続され、「電源」スイッチが「切」の状態

•「出力」ランプのみが、4秒間隔で点滅します。

表示ランプの状態			ブザー
⚠	バッテリ	出力	
消灯	消灯	点滅（4秒間隔）	OFF

• 電源出力停止。
• バッテリは自動充電されます。

●運転開始方法

操作 本機の「電源」スイッチを入れます。

• ブザーが鳴り、「出力」ランプが点灯します。
•「バッテリ」ランプが点滅し、約10秒間バックアップ運転になり自己診断テストをします。（バッテリ電圧が低い時は自己診断テストをしません。バッテリを充電した後に自動的に自己診断テストをします。）
• 自己診断テストが正常に終了すれば商用電源からのAC100V出力に切り替わり、通常運転状態になります。
• 自己診断テストを実行しなかった時は、すぐに商用電源からのAC100V出力になります。

表示ランプの状態			ブザー
⚠	バッテリ	出力	
消灯	消灯	点灯	OFF

• 運転中は、バッテリが自動充電されます。

●停電時の動作

（凡例：□ 点灯　■ 消灯　◩ 点滅）

- 停電や入力電源異常が発生すると自動的にバックアップ運転に切り替わり、バッテリからの電力で電源出力コンセントから電源出力を継続します。
- 「停電時バックアップしない」の電源出力コンセントからの電力供給は停止します。
- 「バッテリ」ランプが 点灯し、ブザーが断続鳴動して知らせます。

表示ランプの状態			ブザー	状態
⚠	バッテリ	出力		
消灯	点灯	点灯	4秒間隔	A
消灯	点滅（1秒間隔）	点灯	1秒間隔	B

- バッテリが十分充電されているときは「A」の表示とブザー音になります。
- バッテリ残量が少なくなると、「B」の表示とブザー音になります。
- バッテリの電力を使い切ると電源出力コンセントからの電源出力も停止し、ランプ表示とブザーも停止します。

●停電が回復した時

- 本機から電源出力している間に停電／入力電源異常が回復した時は、自動的に商用電源からの出力に戻ります。消費したバッテリは充電が開始されます。
- バッテリの電力を使い切って電源出力が停止した後、停電／入力電源異常が回復した時は、本機は自動的に再起動し電源出力を再開します。消費したバッテリは充電が開始されます。

●運転停止方法

操作 本機の「電源」スイッチを切ります。

- 「出力」ランプが消灯し、本機からの電源出力が停止します。

表示ランプの状態			ブザー
⚠	バッテリ	出力	
消灯	消灯	点滅（4秒間隔）	OFF

- 本機の「電源スイッチ」を切った場合でも、AC100V入力プラグが電源コンセント（商用電源）に接続されている状態では、「停電時バックアップしない」の電源出力コンセントからの電力供給は、継続されます。（停電時は除きます。）
- 「電源」スイッチを切っても商用電源からAC100Vが供給されていれば、バッテリは自動充電されます。

4-3 ブザー音・表示の見方

□ 点灯　■ 消灯　◩ 点滅

1. 通常運転中の表示・ブザー

出力1：「停電時バックアップする」電源出力コンセント
出力2：「停電時バックアップしない」電源出力コンセント

No.	表示ランプの状態			ブザー	出力		充電	説明	対処方法
	⚠	- +	出力		1	2			
1	消灯	消灯	消灯	OFF	OFF	OFF	OFF	「AC100V入力」なし。動作停止中。	―
2	消灯	消灯	点滅（4秒間隔）	OFF	OFF	ON	ON	「AC100V入力」あり。電源スイッチ「切」。	―
3	消灯	消灯	点灯	OFF	ON	ON	ON	電源スイッチ「入」。AC100V入力正常。正常動作中。	―

2. テスト動作中の表示・ブザー

No.	表示ランプの状態			ブザー	出力		充電	説明	対処方法
	⚠	- +	出力		1	2			
4	消灯	点滅（4秒間隔）	点灯	OFF	ON	ON	放電中	自己診断テストあるいはバッテリテスト中。	―

3. 停電・入力電圧異常が発生したときの表示・ブザー

No.	表示ランプの状態			ブザー	出力		充電	説明	対処方法
	⚠	- +	出力		1	2			
5	消灯	点灯	点灯	4秒間隔	ON	入力電圧をそのまま出力（停電時は出力停止）	放電中	停電、あるいは入力電圧が110V以上/90V以下のため、バックアップ運転中。このままバックアップ運転を続けるとバッテリが消耗してしまいます。	ご使用の接続機器の終了処理をした後、接続機器を停止してください。
6	消灯	点滅（1秒間隔）	点灯	1秒間隔	ON		放電中	（同上）バッテリの残量が少ないので、まもなく出力を停止します。	（同上）

4. 機器に異常があるときの表示・ブザー

□ 点灯　■ 消灯　◪ 点滅

No.	表示ランプの状態			ブザー	出力		充電	説明	対処方法
	⚠	- +	出力		1	2			
7	点滅（0.5秒間隔）	消灯	点灯	0.5秒間隔	ON		ON	接続機器が多すぎ、許容電力量を超えています。このままでは停電時にバックアップしません。この時状態が3分以上続くとNo.8の状態に移行します。	この表示が消えNo.3の状態になるまで接続機器を減らしてください。
8	点灯	消灯	点滅（0.5秒間隔）	連続	OFF	入力電圧をそのまま出力（停電時は出力停止）	ON	接続容量オーバーにより停止。 接続容量が125%以上の時は、No.7の状態にならず即時にこの状態になります。	本機と接続機器の電源スイッチを一旦全て切ってください。 接続機器を減らした状態で再度本機の電源スイッチを入れてください。
9	点灯	消灯	消灯	連続	OFF		OFF	故障のため停止。	本機と接続機器の電源スイッチを全て切り、本機より一旦接続を外してください。この状態で、本機のAC入力コンセントを商用電源より抜き、再度、商用電源に接続した後、本機の電源スイッチのみを入れてください。 警告ランプが再度点灯する場合は、本機に異常がありますので販売店またはオムロン電子機器カスタマサポートセンタにご連絡ください。

5. バッテリ交換表示・ブザー

No.	表示ランプの状態			ブザー	出力		充電	説明	対処方法
	⚠	- +	出力		1	2			
10	点滅（2秒間隔）	点滅（2秒間隔）	点灯	2秒間隔	ON	入力電圧をそのまま出力（停電時は出力停止）	ON	バッテリテストでバッテリの劣化が検出されました。	バッテリを交換してください。別売の交換バッテリをお求めになれば、お客様で交換できます。 27ページ「5. 保守・点検について」をご参照ください。

4-4 自己診断テスト機能の説明

下記手順にて無停電電源装置内部の故障、バッテリ交換の要否が確認できます。

> バッテリの充電が完了していない場合は、自己診断テストはすぐに実行されません。
> 充電完了後、自動的に実施します。

(1) 本機にパソコンなどの機器を接続した後、本機の「電源」スイッチを入れます。

(2) 「バッテリ」ランプが点滅し、テストのためにバックアップ運転を開始します。(ブザーは鳴りません。)約10秒間のテストが終了した後、自動的に通常運転状態に戻ります。

(3) 「警報」ランプが点灯または点滅し、ブザーが鳴動した場合

参照 「4-3 ブザー音・表示の見方」→23ページ。

「4. 機器に異常があるときの表示・ブザー」、「5. バッテリ交換表示・ブザー」の対処方法にしたがって処置をおこなってください。

4-5 バッテリ自動テスト機能の説明

本機には自動でバッテリ交換の要否、内部回路の故障を判定する機能がついています。(お客様で特別な操作は不要です。)
本機を連続運転している場合は、4週間ごとにバッテリ自動テストが自動実行されます。
本機への商用電源の供給を停止する期間が含まれる場合は、累計の通電時間が4週間になるごとに自動テストが実行されます。
「電源」スイッチが切られている状態でも、商用電源が通電されていれば4週間にカウントされます。
なおバッテリ自動テストは「電源」スイッチがON状態で、かつほぼフル充電状態でないと実行されません。

(1) バッテリ自動テストの開始によって、自動的にバックアップ運転を開始します。(ブザーは鳴りません。)バッテリ自動テストが終了した後、自動的に通常運転状態に戻ります。

(2)「警報」表示が点滅し、ブザーが鳴動した場合
参照 「4-3 ブザー音・表示の見方」→23ページ
「4. 機器に異常があるときの表示・ブザー」、「5. バッテリ交換表示・ブザー」の対処方法にしたがって処置をおこなってください。

別売の自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」を使用いただければ、本バッテリ自動テストを禁止する設定も可能です。

5. 保守・点検について

⚠ 注　意（保守時）

接続機器の保守を行う場合は、必ず本機の「電源」スイッチを切り、AC100V入力プラグを抜いた状態で行うこと。

- 本機の電源出力は、無停電電源装置が運転状態のとき「AC100V入力プラグ」を抜いても出力は停止せず、「停電時バックアップする」のコンセントからAC100Vが供給されます。
- 本機の「電源スイッチ」を切った状態でも、AC100V入力プラグが電源コンセント（商用電源）に接続されている状態では、「停電時バックアップしない」のコンセントからAC100Vが供給されます。（停電時は除く）

分解、修理、改造をしないこと。

- 感電したり、火災を起こす危険があります。

内部から液体が漏れたら、液体に触らないこと。

- 失明したり、火傷をする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

本機を火の中に投棄しないこと。

- 鉛バッテリを内蔵していますので、バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

5-1 バッテリの点検

無停電電源装置に使用しているシール鉛バッテリは寿命があります。
（保存／使用環境・バックアップの頻度によって寿命は変わります。）
寿命末期に近づくほど急速に劣化が進みますのでご注意ください。

- バッテリ自動テスト（26ページ）で寿命を判定できますが、より正確に寿命を判定したい場合は、次の手順でバッテリの点検を行ってください。

1. バッテリの寿命（交換時期の目安）

平均周囲温度	BZ35T/BZ50T		BZ50LT	
	期待寿命	交換の目安	期待寿命	交換の目安
20℃	2～3年	使用開始から2年後	4～5年	使用開始から4年後
30℃	1～1.5年	使用開始から1年後	2～2.5年	使用開始から2年後

2. バッテリの点検方法

参照 「7-1 バックアップ時間の測定方法」に従いバックアップ時間を測定してください。
→33ページ

測定した値が「3-2 バックアップ時間の初期値測定」（19ページ）あるいは「7-2 バックアップ時間の目安」（33ページ）のグラフで求められる値の半分以下になった場合はバッテリを交換してください。

- お客様で測定された「バックアップ時間の初期値」と現在のバックアップ時間を比較される場合、本機に接続する機器を初期値を測定した時と同一の容量にしないと正確に判定できません。

3. バッテリ点検(バックアップ時間の測定)の目安、頻度

平均周囲温度	BZ35T/BZ50T		BZ50LT	
	6ヶ月ごとの点検	1ヶ月ごとの点検	6ヶ月ごとの点検	1ヶ月ごとの点検
20℃	購入時から1.5年まで	1.5年以降	購入時から3年まで	3年以降
30℃	購入時から10ヶ月まで	10ヶ月以降	購入時から1.5年まで	1.5年以降

※ バッテリは保管状態でも劣化が進行します。高温になるほど寿命は急速に短くなります。

5-2 バッテリの交換

本機はお客さまご自身でバッテリ交換が可能です。

⚠ 注 意(バッテリ交換時)

交換作業は、安定した平らな場所で行うこと。

●落下によるけが、液漏れ(酸)によるやけどなどの危険があります。
●バッテリは落下しないよう両手でしっかりと保持してください。

指定以外の交換バッテリは使用しないこと。

●火災の原因となることがあります。
●商品型式：BP50T (BZ35T/BZ50T交換用バッテリ)
BP50LT (BZ50LT交換用バッテリ)

可燃性ガスがある場所でバッテリ交換をしないこと。

●バッテリを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。

●失明したり、やけどをする危険があります。
●目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

バッテリの分解、改造をしないこと。

●希硫酸が漏れ、失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

●希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリを金属物でショートさせないこと。

●バッテリの接続コネクタに金属物を挿入しないこと。感電、発火、やけどの恐れがあります。
●やけどをしたり、火災を起こすことがあります。
●使用済みバッテリでも内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

●バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

交換作業は、接続機器のプラグを抜いた状態で、かつ本機の「電源」スイッチを切り、AC100V入力プラグを抜いた状態で行うこと。

● 交換作業中は、接続機器への給電はできません。
● 感電する危険があります。

お願い

この製品には、鉛バッテリ(鉛蓄電池)を使用しています。

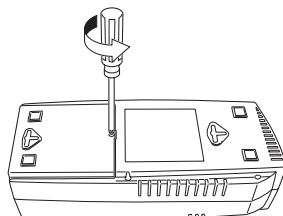
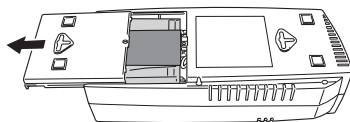
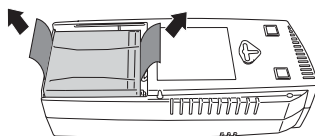
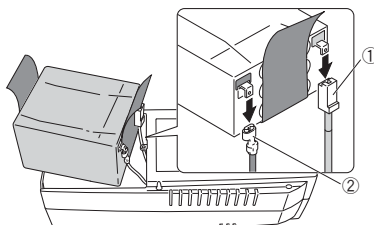
●鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。

バッテリ交換方法

● 準備

(1) 別売品の交換用バッテリを用意してください。
(2) まず、接続機器を停止し、接続機器のプラグを抜いてください。
再接続の時「停電時バックアップする」と「停電時バックアップしない」コンセントとを間違えないように確認しておいてください。
(3) 本機の電源スイッチを切ります。
(4) 「AC100V入力」プラグを電源コンセントから抜きます。

●バッテリ交換

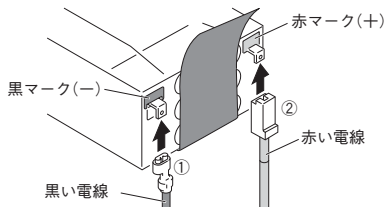
(5) 本機を裏返して底面を上にします。
バッテリ交換用フタ固定ネジ(1個)をネジ回しで外します。(反時計方向に回す)

(6) バッテリ交換用フタを横にスライドさせて、フタを取り外してください。

(7) 白いラベルを持ってバッテリを取り出します。

(8) バッテリを完全に取り出した状態で、電源コネクタを引き抜きます。
①赤色の電線(+側)のコネクタを抜きます。
②黒色の電線(−側)のコネクタを抜きます。

⚠ 注　意

**●バッテリから液漏れがあるときは、液体(希硫酸)に触らないこと。
またバッテリを逆さまにしないこと。**

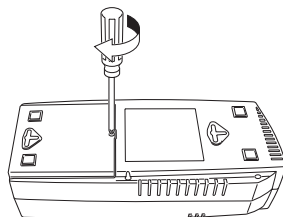
・やけどや目に入ると失明の恐れがあります。
・液体が目や皮膚に付着したときはすぐに大量の水で洗い流し、医師の診療を受けてください。
・交換用バッテリを包装してあるビニール袋にそのまま入れ、テープで封止してください。

●バッテリを落下させないこと。

(9) 新しいバッテリを接続して、ケースの元の方向に入れてください。
①黒色の電線(一側)のコネクタを差し込みます。
②赤色の電線(十側)のコネクタを差し込みます。

赤マーク(＋)
黒マーク(ー)
②
赤い電線
①
黒い電線

新しいバッテリは、必ず下記のものを使用してください。
BZ35Tの場合：　BP50T
BZ50Tの場合：　BP50T
BZ50LTの場合：BP50LT

(10)バッテリ交換フタを取り付けてください。
バッテリ交換用フタをネジで固定します。
(ネジ回しで時計方向に回す)

バッテリ交換日をメモしてください。
別売の自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」をご使用いただければ、本ソフトにてバッテリ交換日を管理いただけます。

●接続と動作確認

(11)接続機器のプラグを電源出力コンセントの元の位置に差し込んでください。
(12)本機の「AC100V入力」プラグを電源コンセントに接続します。
(13)本機の電源スイッチを入れます。
(14)正常に起動し、ランプ・ブザーが下記の通りになることを確認してください。

表示ランプの状態			ブザー
⚠	－ ＋	出力	
■	■	□	OFF

□ 点灯
■ 消灯

以上でバッテリ交換は完了です。

5-3 お手入れ方法

● 本機の汚れを落とす

柔らかい布に水または洗剤を含ませ固く絞り、軽く拭いてください。
シンナー、ベンジン等の薬品は使用しないでください。（変形、変色の原因になります）

● 電源プラグのほこりを取り除く

- 接続機器および本機の「電源」スイッチを切ってください。
- 「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜き、プラグの周囲を乾いた布で拭き、ほこりを取ってください。
- 接続機器のACプラグも本機から抜いて、清掃してください。
- 接続機器のACプラグを本機に元のように接続し、本機の「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントに接続してください。

（接続方法が分からなくなった時）

参照 「2. 設置・接続をする」→11ページ

6. 回線サージ保護機能を使う

落雷などにより電話回線、ISDN回線上に発生するサージ電圧(異常高電圧)を吸収し、モデム、TAをサージによる破損から保護することができます。

※回線サージ保護機能を使用されない場合は本項は不要です。

回線サージ保護機能に接続可能なコネクタ形状は「RJ11(2芯)」です。

お願い

回線サージ保護の「IN」と「OUT」の接続を逆にしないでください。

●保護回路が故障した時にISDN回線等に障害を与える可能性があります。

6-1 電話回線と接続する場合

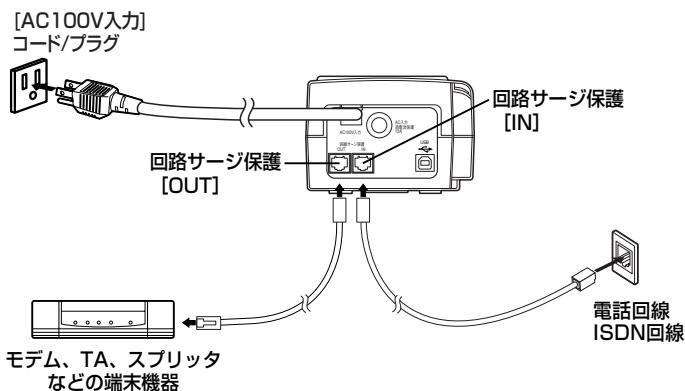
壁からの電話回線を本機の回線サージ保護「IN」ジャックへ接続します。
本機に付属の電話線(モジュラーケーブル)を使用し、本機の回線サージ保護「OUT」ジャックとモデム、FAX等を接続してください。

6-2 ISDN 回線と接続する場合

壁からのISDN回線を本機の回線サージ保護「IN」ジャックへ接続します。
本機に付属の電話線(モジュラーケーブル)を使用し、本機の回線サージ保護「OUT」ジャックとDSU (DSU内蔵のターミナルアダプタの場合はターミナルアダプタ)を接続してください。

6-3 ADSL 回線と接続する場合

壁からのADSL回線を本機の回線サージ保護「IN」ジャックへ接続します。
本機に付属の電話線(モジュラーケーブル)を使用し、本機の回線サージ保護「OUT」ジャックとスプリッタ(スプリッタを使用しない場合はADSLモデム)を接続してください。

6-4 接続例

7. バックアップ時間を測定する
（バッテリの放電時間をチェックする）

7-1 バックアップ時間の測定方法

(1) 本機の「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続し、約12時間充電します。
すでに12時間以上運転されている場合は充電されています。この間、停電があった場合は充電をやり直してください。

(2) 「停電時バックアップする」電源出力につながっているすべての接続機器の電源を入れてください。（パソコンのサービスコンセントに接続されている機器を含む）
ただし、接続機器の電源が途中で停止しても支障のない状態で運転してください。

● WindowsXP/Me/2000/WindowsNTの場合
ハードディスク（HD）が停止している状態で実施してください。
● Windows98/95の場合
Windowsの終了を選択し、ご使用中のOSを次のような手順で終了してください。
[MS-DOSモードで再起動する]を選択してOSを終了し、MS-DOSモードの画面にしてください。

(3) 本機の「AC100V入力」プラグを抜き、バックアップ時間を測定してください。
プラグを抜いたままで無停電電源装置が自動的に停止し、表示がすべて消えるまでの時間を測定します。

※ ご購入後、はじめて測定したバックアップ時間が「バックアップ時間の初期値」となります。

7-2 バックアップ時間の目安

バックアップ時間は接続機器の容量により変化します。
接続機器の総容量を計算した後、バックアップ時間のグラフを参照し、バックアップ時間初期値の目安にしてください。（バッテリの点検をする際も同様です）

(1) 接続機器の総容量（消費電力）を、W（ワット）に統一します。
接続機器の表示はパソコン本体、ディスプレイ裏面を確認してください。
表示方法としては、VA（ボルト・アンペア）表示、A（アンペア）表示、W表示の3種類があります。

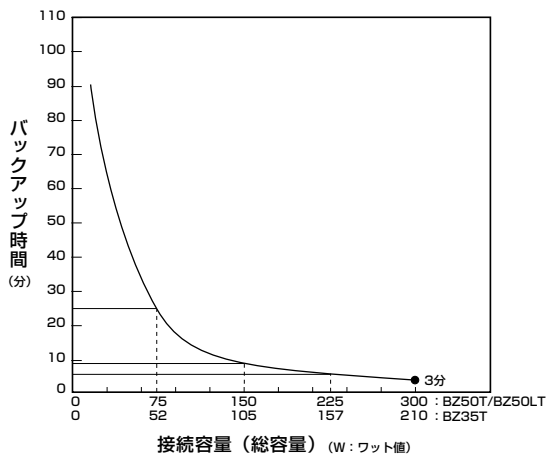
例1）AC100V，50/60Hz，145W
例2）AC100V，50/60Hz，1.8A
例3）AC100V，50/60Hz，150VA

表記	値
VA	× 力率 = W
A	× 力率 × 100 = W

VA、Aと表記されている機器の場合は容量をWに換算してください。換算方法は機器の表記に上表の値をかけてください。
（力率が不明な場合は“1”としてください。通常、力率は0.6～1の間の値です）

(2) Wに換算した値を合計して、接続機器の総容量を求めてください。

(3) 下記グラフから接続機器の総容量でのバックアップ時間初期値を算出してください。

- ● バックアップ時間グラフ（新品初期値）
- ● バックアップ時間は、接続機器の容量が小さいと長くなります。
- ● 無負荷で停電させた場合でも最長のバックアップ時間は90分です。
（90分で出力停止します。）

8. おかしいな？と思ったら

本機の動作がおかしい時、以下の確認をおこなってください。
それでも解決しない時は、オムロン電子機器カスタマサポートセンタにお問い合わせください。

現　象	確認・対策
動作しない 本機の「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に差し、電源スイッチを入れても「出力」ランプ（緑）が点灯しない	①「AC入力プラグ」が商用電源に確実に接続されているか確認してください。 ②「AC入力過電流保護」が働いている。 （黒いボタンが飛び出しているときは接続機器が多すぎる、または接続機器側の短絡事故が考えられます。）接続機器をすべて外し、「AC入力過電流保護」の黒いボタンを押し込み中で固定されたことを確認します。再度本機の「電源」スイッチを入れてください。正常な運転表示が点灯しないときは故障です。(23ページ「ブザー音・表示の見方」を参照ください。 ③電源コンセント（商用電源）の電圧が低すぎませんか？ エアコンなどの消費電力が多い機器を止める。他の部屋や他の家屋の電源コンセント（商用電源）に接続するなどして試してください。（90V以下では動作しません。）
バックアップできない 停電するとパソコンも停止してしまう	充電不足ではありませんか？12時間以上充電してからテストしてください。 （本機の「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続すると充電できます。）
頻繁にバックアップする 停電でもないのに、頻繁に切替をおこなっている カチャカチャ音がする	① 入力電源に異常がある可能性があります。本機を別の部屋の電源コンセント（商用電源）、できるなら別の家屋の電源コンセント（商用電源）に接続してみてください。またはクーラーなど大型機器を止めてみてください。 ② ページプリンタが接続されていませんか？ プリンタは、瞬時に大きな電流が流れるため正常にバックアップできません。
ディスプレイ画面がおかしい ●画面がゆらぐ ●白線がはいる ●ノイズ音が大きくなる	① 本機はバックアップ時に若干のノイズを発生します。ノイズの影響を受けやすいタイプのディスプレイでゆらぎや白線が入ることがありますが、故障ではありません。 ② 本機やパソコン、ディスプレイのアースを接続すると、改善される場合があります。 ③ バックアップ時に接続機器によってはノイズ音が少し大きくなることがありますが、矩形波出力によるものでありそのままご使用されても問題ありません。
「警報」ランプが２秒に１回点滅している	バッテリ自動テストあるいは自己診断テストでバッテリが劣化していると判定されました。 短時間のバックアップ運転しかできませんのでバッテリを交換してください。
「警報」ランプが0.5秒に1回点滅している	接続機器が多すぎます。このランプが消えるまで、接続機器を減らしてご使用ください。
「警報」ランプが点灯している 「出力」ランプが0.5秒に1回点滅している	接続機器が多すぎる状態が3分以上継続または125％を超え即時に停止しました。 本機の「電源」スイッチを切り再び入れた時に、警報ランプが0.5秒に1回点滅している場合、接続機器を減らしてご使用ください。
「出力」ランプおよび「バッテリ」ランプが消灯して「警報」ランプが点灯している	回路に異常があります。修理が必要ですので、販売店またはオムロン電子機器修理センタにご連絡ください。
パソコンとUSB通信ができない	一度、パソコンからUSBケーブルを抜き、再度接続してください。
テスタで出力電圧を測ると80V位しか出力していない	本機はバックアップ運転中は特殊な矩形波で出力します。簡易なテスタでは特性上80V位の表示になります。故障ではありません。正しい測定をするには「真の実効値」が測定できるタイプの電圧計が必要です。

9. 関連商品の説明

自動シャットダウンソフトを使用する

※自動シャットダウンソフトを使用されない場合は本項は不要です。

1. WindowsXP/2000/Server2003のUPSサービスによる自動待避処理を行う場合

添付のUSBケーブルを用いて本機とパソコンを接続し、専用ドライバと組み合わせてご使用になると、WindowsXP/2000/Server2003標準搭載のUPS管理ソフトをご利用いただけます。
詳しくは、当社ホームページ上に記載しています内容をご覧ください。
また専用ドライバも、当社ホームページからダウンロードしていただけます。

2. 別売の自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」(PA01)を用いて自動待避処理を行う場合

本機を、添付するUSBケーブルを用いてパソコンと接続し、別売の自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」と組み合わせてご使用になると、自動待避処理に加え、機能の設定も可能となります。
また、つぎの動作なども実現できます。

① スケジュール運転(自動起動、自動停止)
② WWWブラウザソフトを使用してのローカル管理／リモート管理
③ 本機の動作状態を監視・表示・記録
④ 複数台のパソコンのシャットダウン
⑤ 複数台の本機の管理

詳しくは、当社ホームページに記載しています内容をご覧ください。

ホームページアドレス：http://www.omron.co.jp/ped-j/

参考資料

A. 仕様

方式	運転方式	常時商用給電方式
	接続可能機器	パソコン、ディスプレイ、および周辺機器
入力	入力電圧範囲 ※1	AC86±4V～AC114±4V
	周波数	50/60Hz±4Hz
	最大電流	12A
出力	波形（商用時/バックアップ時）	正弦波/矩形波
	出力容量（共に上限）	「停電時バックアップする」出力コンセント 350VA/210W (BZ35T), 500VA/300W (BZ50T/BZ50LT) ※2 「停電時バックアップしない」出力コンセント 3.5A (BZ35T), 5A (BZ50T/BZ50LT)
	電圧	AC100V-10 / +10V（バックアップ運転時）
	停電切替時間	10msec.以内
	バックアップ時間	3分以上、最大90分（20℃、初期特性）
電池	種類	小型シール鉛バッテリ
	充電時間	12時間
環境	周囲温度	0～40℃（動作時）／-15～40℃（保管時）
	周囲湿度	25～85％RH（動作時）／10～90％RH（保管時）バッテリ満充電/無結露
外形寸法（W×D×Hmm）		300×124×87
本体質量		約3.2kg
内部消費電力（通常時/最大時）		10 / 20W
電源ケーブル取得規格/ケーブル長さ		UL規格認定品/約1.8m

※1： 本機の電源異常検出電圧は以下の通りです（参考値）。ただし、条件によっては出力電圧が瞬間的に高電圧検出電圧以上または低電圧検出電圧以下になる場合があります。
＜電源異常検出電圧（実効値）＞
高電圧検出電圧 120V±4V
低電圧検出電圧 80V±4V

※2： 無停電電源装置に接続する負荷容量は、VA値およびW値の両方の値が本規定を越えない範囲でご使用ください。

B. 関連商品

●交換用バッテリ（BZ35T/BZ50T/BZ50LT用、別売品）

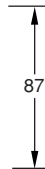
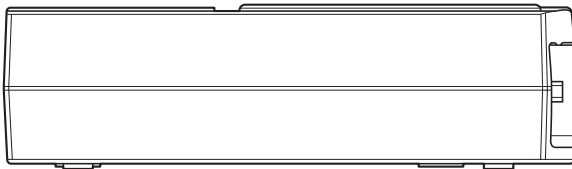
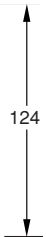
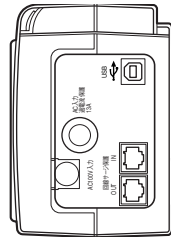
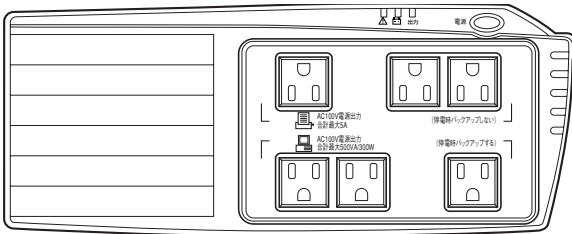
バッテリ交換は専用の交換用バッテリをお求めください。
交換用バッテリ型式名： BP50T（BZ35T/BZ50T用）, BP50LT（BZ50LT用）

●自動シャットダウンソフト[PowerAct Pro」

自動シャットダウンソフト型式名：PA01

●壁掛け取付金具（BZ35T/BZ50T/BZ50LT用、別売品）

BZ35T/BZ50T/BZ50LTを壁に取り付けて使用されるときは必ずこの取付金具を使用してください。
壁掛け取付金具型式名：BUP08

C. 外形図　<単位 : mm / 公差 : ±1mm>

D. 回路ブロック図

本機は通常、商用電源からの入力をそのまま電源出力すると同時に、バッテリの充電を行います。停電あるいは電圧変動が発生すると、バッテリによる運転に切り替えて電源出力を継続します。その際、ブザーが断続的に鳴ります。停電が回復すると、自動的に通常の商用電源での運転状態に戻ります。（ブザーは停止します）お客様の特別な操作は必要ありません。

オムロン株式会社

K1L-D-03527D